

活動テーマ

多世代・多文化交流を基盤とした祭りによる地域活性化と健康創成

皆野町金崎・三沢地区 早稲田大学

1 活動目的

- 多世代・多文化交流を基盤とした祭りによる地域活性化と健康創成

2 活動地域の現状

- 活動の中心となる皆野町の人口は 9,497 人（令和5年3月1日現在）、三沢地区の人口は 1,158 人（令和元年12月1日現在）、金崎地区の人口は 384 人（令和元年12月1日現在）。
- 皆野町は秩父音頭発祥の地であり、毎年8月14日に秩父音頭まつりが行われるが、コロナ禍により3年連続で開催中止となっている。
- コロナ禍による多世代交流機会（伝統文化の継承等）の減少とそれに起因する将来にわたる地域への愛着形成をはじめとした若者への有償無償の教育機会の有機的連携が課題。

3 活動内容

- 第3回世界秩父音頭祭り（オンライン）企画・開催
- 秩父音頭に関する他言語サイトの運営
- 皆野町役場・地域包括支援センターと連携した地域課題解決フィールドワークの実践
- 地域活性学会第14回研究大会参加・報告
- 地域活性研究 vol.17 への論文投稿
- 海外大学、高校を皆野町へ招聘した国際交流プログラムの実施（タイ、オーストラリア、カザフスタン）
- 海外現地交流による皆野町の伝統文化紹介（タイ、カザフスタン）
- 農泊体験による文化交流

4 成果

- 中止となった秩父音頭祭りをオンラインで開催した。
- 皆野中学校、皆野高校と海外大学、高校と連携した国際交流プログラムを開催した。
- 皆野町で教育をテーマにしたシンポジウムを開催した。
- 学術成果3件（学会発表1件、査読付き投稿論文2件）
 - ・ 伊藤和哉，タペノワ グルデン，ベイセンバイ ゼレ，黒澤栄則，アンダソヴァ マラル，齋藤篤，扇原淳．日本とカザフスタンの学生の協働による ICT を活用した地域課題解決策の提案．地域活性学会第14回研究大会（横浜・三浦半島）発表予稿集．pp.73-74．2022.9.10
 - ・ 大木 美穂，岩垣 穂大，扇原 淳．地域活性研究．新型コロナウイルス感染症拡大が秩父音頭祭りへ与えた影響及びオンライン世界秩父音頭祭りの試み．17，

pp. 195-202, 2022

- ・ ベイセンバイ ゼレ, タペノワ グルデン, 伊藤 和哉, 鈴木 大介, 黒澤 栄則, 齋藤 篤, 扇原 淳. 地域おこし協力隊による地方自治体の国際化支援の試み. 地域活性研究. 17, pp. 255-262, 2022

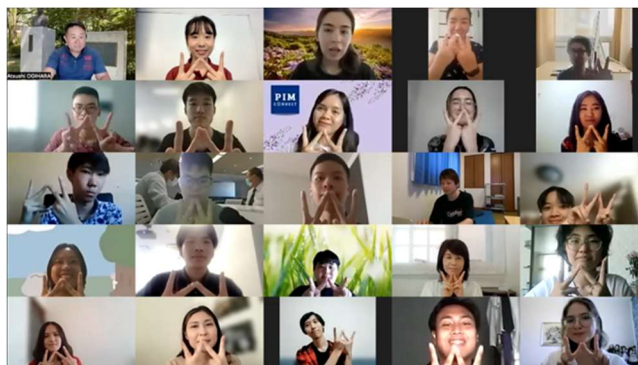


図 1 : 第 3 回世界秩父音頭参加者の集合写真



図 2 : 皆野教育シンポジウムの様子



図 3 : 海外大学との連携による国際交流プログラム
(タイ学生と皆野中学生が交流する様子)



図4：海外大学との連携による国際交流プログラム
(カザフスタンの大学生が皆野町の地域課題解決策について提案する様子)



図5：海外現地交流による皆野町の伝統文化紹介
(タイの高校で秩父音頭を一緒に踊る様子)

5 課題

- コロナ禍における地域・文化活動の制限，衰退
- 地方自治体におけるオンライン環境の整備・充実
- 地域の魅力化，活性化を目指した活動の評価指標の開発・効果測定

6 次年度以降の計画

- 活動方針：秩父音頭・俳句を活用した地域づくり
- 秩父音頭祭りへの参加：地域住民と協働した身体活動量測定，民泊事業と連携したインバウンド増加施策の検討
- 俳句世界大会の開催：海外大学，高校と連携した俳句ワークショップ（例：高齢者が作った俳句を皆野中学生が英語で伝える）